

緑と石のヴィスタ

「緑と石のヴィスタ」も「エントランス広場」と同じように花崗岩の石垣をついて造られた、うねる大地の裂け目のような通路で、その石垣が街路樹に替わってヴィスタを構成し（造園の手法では通常ヴィスタは並木の街路樹で構成されます。）、その先の芝生広場の中の小山の一つがアイストップとしてちらっと見えてきます。

ここを通るうち、徐々に自然の世界へタイムスリップしていくかのようにその先に広がる世界への期待が高まっていく空間です。

この道は先へ行くほど道幅が少し狭くなっており、両側の石垣のうねりと相まって人間の目の「錯視」の効果により実際より奥行きがあるようにみえる仕掛けとなっています。

切り通しの道の面には、スリットのように溝が入っていますから、道の両端の距離を歩測していただくと実際先に行く程、どれだけ絞ってあるかがわかります。

また、もう一つの工夫として、阿讃山脈の屏風のような緑を「借景」としているので実際の公園の面積より幾倍もの広がり感を与えています。

